

国保税率は据え置き バイパス化に向けた同盟会発足

6月定例議会が6月17日から21日までの5日間にわたり開催され、株式会社藤里開発公社の経営状況報告や、一般会計補正予算など上程された11案件について原案どおり可決されました。



行政報告

◇春の叙勲「瑞宝単光章」

本町から元町消防団分団長の齋藤守一氏が消防功労として「瑞宝単光章」を受章されました。齋藤氏は、昭和36年1月に入団後、平成2年11月から副分団長、平成3年11月からは分団長を歴任され、平成10年9月15日の退職まで37年9カ月間地域消防と予防活動に尽力されました。

受章に対し、改めて心から敬意とお祝いを申し上げます。

◇県道西目屋二ツ井線早期改良整備期成同盟会発足

県道西目屋二ツ井線は、自然災害等により度々通行止めの措置が取られるなど、住民生活に支障をきたすことがあるため、抜本的な改良整備（バイパス化等）の早期実現に向け、国や県等への要望活動を積極的に推進するべく、能代市と藤里町による県道西目屋二ツ井線早期改良整備期成同盟会を設立したものであります。

本同盟会は、12名の役員で構成されており、総会では、国や県等に対して、早期実現に向けた請願・陳情等の諸活動を盛り込んだ本年度事業計画等が承認されました。

◇秋田未来づくりプロジェクト

5月21日にプレゼンテーションを行い、藤里町「白神ブランド化」プロジェクトとして、秋田県と「策定確認書」を取り交わしました。

交付金2億円の内、平成25年

度分予算として49,000千円が県議会へ提出されており、県議会分科会において正式に決定の上、事業がスタートする運びとなっております。

内容は、白神ラム肉、りんどう等のブランド化、米代フォレストライン（林道米代線）の継地点にあたる猿ヶ瀬園地の再整備を主な事業として策定しており、今後、28年度まで、策定された事業を進めていくこととなっております。

◇町制施行50周年記念事業について

夏のイベントとして、8月10日、11日、第37回ふるさとまつりと共催する形で「町フェスふじさと50祭」を開催する予定となっております。

オープニングセレモニーを合図に役場前ステージで「ふるさとまつり」が開催され、JA駐車場、いとく駐車場ステージにおいて、町内外の郷土芸能などを披露いたします。

翌日には、開発センターグラウンドにメインステージを設置し、「ふるさと・ふじさとミュージックフェスティバル」と称して4名の女性アーティストによる記念ライブを行います。

その他、食イベントとして「ふじさと郷土料理」、地元の羊

肉や牛肉をPRするイベントとして「県内外からのご当地グルメ」などを招致し、イベントフィナーレとしては、白神音頭、町民歌の合唱、花火の打ち上げを企画しております。

◇国民健康保険税の税率

今年度の医療給付費について1%程度（前年度2%）の伸びが見込まれる一方で、一般被保険者の課税標準額となる総所得金額は、米価が前年より高かったことから、前年度より2・3%の増加となる見通しとなっています。これにより、現行税率で保険税を試算すると、当初予算に見込んでいた総額を確保できる見込みであることから今年度については、税率を据え置くことにしています。

◇農林業関係について

今年の稲作については、豪雪と春先の低温により、田植えは1週間ほど遅くなりました。育苗時の日照が少なかったことから、苗が軟弱気味でしたので、今後は適切な水管理による茎数の確保や、病害虫の防除のための栽培情報の提供に務めてまいります。

今年の米の生産数量配分は、昨年より8t多い2,619t、作付面積では、1・48ha増え、